

2019年11月16日(土) 14:30~18:00 (開場 14:00)

大阪府立大学 I-site なんば

https://www.jasnaoe.or.jp/jsn-event/20191116_mecc_osaka/

研究者と語ろう

船の研究最前線

— 未来の船はどうなる? —

本フォーラムでは、3名の講演者に船をテーマにした最先端の研究内容についてわかりやすくご紹介いただきます。総合討論では、講演者をパネリストに研究開発の魅力について意見交換を行います。理系進学に関する中高生の質問も歓迎します。

14:30 - 14:45

日本船舶海洋工学会理事

大塚 耕司 さん

OTSUKA Koji

<オープニング>

海のことを

もっとみんなで知ろう

海の誕生から人間のかかわりまで

NYK SUPER ECO SHIP 2050

~ Join us on our journey to a carbon free world ~



14:45 - 15:30

株式会社 MTI

佐藤 秀彦 さん

SATO Hidehiko

未来の船と船のIoT

船の技術の大変革

燃料・ビッグデータ・自律操船などなど



15:30 - 16:15

神戸大学准教授

橋本 博公 さん

HASHIMOTO Hirotada

AIによる自律操船

自動運航船の実現に向けて



提供: HySTRA

16:30 - 17:15

川崎重工業 株式会社

稲津 晶平 さん

INATSU Shohei

次世代エネルギー

水素を運ぶ

世界初の液化水素運搬船の開発

17:20 - 17:50

総合討論: なぜ、私は研究者・技術者になったのか



共催: 公益社団法人 日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会
大阪府立大学大学院工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 海洋システム工学分野
大阪大学大学院工学研究科
神戸大学大学院海事科学研究科

後援: 大阪府教育委員会、京都府教育委員会、奈良県教育委員会、兵庫県教育委員会、和歌山県教育委員会



WEB 参加申込

下記 2 次元コードからお申込み下さい
(携帯電話のご利用マナーにご協力下さい)



FAX 参加申込：06-6879-7594

送付先：日本船舶海洋工学会 関西支部事務局宛

申込日：2019 年 月 日

- | | |
|-------------------------|--|
| ① 参加代表者氏名 | |
| ② 参加人数（代表者含む） | |
| ③ 参加代表者のメールアドレス | |
| ④ 参加代表者の電話番号
(携帯番号可) | |

・ご記入いただいた情報は、海洋教育フォーラムのイベントのみに使用させていただきます。
・FAX 申込に対する返信は行いません。なにとぞご了承ください。

参加費：無料

当日席に余裕があれば申込なしでも参加できますが、確実に着席・講演資料を希望される場合は、事前申込をお願いします。
お申し込みは、上記 Web または FAX 申込書を利用してください。

会場：大阪府立大学 I-site なんば

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 2-1-41 南海なんば第 1 ビル 2 階
(<https://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/>)

Osaka Metro 御堂筋線・四つ橋線「**大国町駅**」下車、1 号出口より東へ徒歩約 7 分

Osaka Metro 堺筋線「**恵美須町駅**」下車、1-B 号出口より西へ徒歩約 7 分



講演プログラム

14:30～14:45 開会 海のこともっとみんなで知ろう -海の誕生から人間のかかわりまで-

大塚耕司（日本船舶海洋工学会理事、大阪府立大学教授）

14:45～15:30 未来の船と船の IoT -船の技術の大変革 燃料・ビッグデータ・自律操船などなど-

講演者：佐藤秀彦（株式会社 MTI 船舶技術グループ 専任グループ長）

過去の歴史を振り返りつつ、今取り組んでいる船の技術の大変革のバックグラウンドである、環境保護問題、IT の進歩によるビッグデータの活用、自律操船など、未来の船はどうなっていくのかを NYK グループの取り組みを通してわかりやすくご紹介いたします。今まで思っていた船のイメージがグッと変わってくるかもしれません。

15:30～16:15 AI による自律操船 -自動運航船の実現に向けて-

講演者：橋本博公（神戸大学准教授）

ドローンや自動車の自動運転と同じく、自動運航船の研究が世界中で加速しています。国際物流の大半は船舶を用いた海上輸送であるため、豊富な経験が求められる操船作業を自動化することは、海運国である日本にとって大きなメリットがあります。本講演では、自動操船を実現するための AI 開発状況と今後の展望について紹介します。

16:30～17:15 次世代エネルギー水素を運ぶ -世界初の液化水素運搬船の開発-

講演者：稲津晶平（川崎重工業株式会社 船舶海洋カンパニー 基本設計部 基幹職）

現在、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業の一環として、世界初となる液化水素運搬船の実証船の建造が始まっています。次世代のクリーンエネルギーである水素を効率的かつ安全に輸送するためには、液化水素による海上輸送が不可欠です。講演では、-253℃という極低温の液化水素を運ぶための最新技術について紹介します。

17:20～17:50 総合討論 「なぜ、私は研究者・技術者になったのか」

進行：石黒慎二（三菱重工業株式会社・実行委員）

講師と参加者で研究開発の面白さについて意見を交わします。

17:50 閉会

箕浦宗彦（海洋教育フォーラム in 大阪 実行委員長、大阪大学准教授）

